



栃木県立足利南高等学校 平成22年度 総合学科通信 第2号

No.28
(2010/12/22発行)

一日体験学習

教頭 茅島 有子

平成22年8月3日、中学生・保護者に対して、本校の教育課程・内容・進路状況・特色等を説明し、体験的に本校への理解を深め、将来の進路選択に資することを目的とし、一日体験学習を開催しました。

当日は足利・佐野を中心に、中学生467名、保護者170名、教員3名の計640名の参加がありました。

昨年は校舎耐震工事の影響により、体験授業が実施できませんでしたが、本年度は本校の特色ある授業（英会話・中国語・化学実験器楽バイオリン・工芸陶器作り・製菓実習・ラッピング実習・情報名刺作り）を多くの中学生に体験していただきました。

アンケートを実施したところ、学校・学科の教育上の特色や内容が理解できたは98%、一日体験が大変参考になったのは74%という大変高い評価をいただきました。また、「南高なら自分の夢を見つけられそうだ」、「学校行事が楽しそうだ」、「選択科目が多いのに驚いた」、「先輩方が明るく優しく、とても安心した」等の感想もありました。猛暑の中行われましたが、中学生にとって、全体説明会や体験授業、部活動見学等を通し、進路選択を真剣に考えるための、充実した一日になったのではないのでしょうか。

一日体験学習（化学）

『実験で理科に興味を』
理科 渡邊 貴志

毎年夏休みにおこなわれる中学生とその保護者を対象とした一日体験学習、今年も多くの中学生在参加しました。体育館で本校についての説明を聞いた後、各自が希望していた体験授業を受けました。化学室では炎色反応とテルミット反応という実験を演示でおこないました。8月ということもあって、炎色反応は花火の話を交えながらの説明をすることにしました。近年では複雑な色も出せるようになった花火も全てこの炎色反応の原理によるものです。花火のように身近なものを題材にすることで、より理科に興味と関心をもってもらいたいとの意図でこの実験を選びました。40分ほどの時間で中学生にそれを伝えるのは簡単ではありませんが、炎の色が変わる度に中学生の表情も変化し、少しは理科の面白さを伝えることができたかなと思いました。理科離れが進む昨今ですが、多くの中学生に理科の授業を選択していただき、非常に有意義な体験授業を展開することができました。

ホークスベリー高校訪問

英語科 青柳 明子
森 邦子

7月16日から28日までの12日間、足利南高から8名の生徒・教職員が、姉妹校であるオーストラリア NSW 州にある、ホークスベリー高校を訪問してきました。「百聞は一見にしかず」と言うように、生徒達は様々な経験を通してオーストラリアを満喫し、今後につながる手応えを得て帰ってきました。以下は、生徒の報告書の抜粋です。生のオーストラリア、そして生の国際交流を感じていただければと思います。

『私のホストファミリーの家は山奥にありました。驚くことに、自分の家の庭から野生のカンガルーが見えてしまうのです。ちなみにカンガルーと言っても、小型のワラビーという種類なので襲われる心配はありません。その他にも、動物園でしか見られないような、色のキレイな鳥をたくさん見ることが出来ました。自然の豊かさを感じずにはいられませんでした。』

『オーストラリアの人はとにかく肉しか食べないというイメージでした。しかし、アイリッシュの家はベジタリアンで、野菜や豆しか食べない家でした。理由を聞いてみると、動物を殺すのが可哀想だから食べない』と説明して



くれました。日本とは違った面があるのだなと、驚きました。』

『ホストファミリーはとても優しく、良い人たちでよかったです。ホストは女の子だったので、休日には、お揃いのお化粧をしたり、リボンを付けたり、本当の姉妹のようになれました。』

『オーストラリアから帰国後、私はもっと英語を学び、流暢に会話ができるくらいに上達したいと思いました。私の夢につながる素晴らしい体験ができ、ぜひ今後に生かそうと思います。』

『この短い間で、人の温かさに触れました。言葉が十分に分からなくても、たくさんの交流や話をし笑い合うことが出来ました。この経験は一生忘れることがないでしょう。』

『英語を理解できないからといって、諦めてしまうのではなく、大切なのは、聞き取ろうとする気持ちと伝えようとする気持ちがあれば、相手にはきちんと伝えることが出来ると言うことを学ぶことができました。』

第13回青南祭

生徒会係 飯塚 真史

2年に一度の学校祭が、平成22年9月3日金曜日と9月4日土曜日（一般公開）に開催されました。校内発表では、開会式の後、テーマ・ポスター・うちわデザイン優秀賞の表彰がありました。また生徒会執行部生徒によって企画・運営がなされた、「カラオケ歌合戦」の出場者が映像で紹介され、大いに盛り上がりしました。

一般公開日は天気に恵まれ、数多くの方々に訪れていただきました。生徒会執行部が作成した入場門が、まず皆様の目に入ったことと思います。その後、クラス・部活動・有志の団体が、工夫を凝らした企画で皆さんをお迎えしました。中庭では、吹奏楽部の演奏・1年4組・2年1組のダンス、有志団体がそれぞれ発表し、観客の皆様からたくさんの拍手をいただきました。第一体育館では、フォーク部のバンド演奏、演劇部の「夢で逢いましょう」が公演されました。各教室でも、自作映画上演・風船迷路・軽食屋など、それぞれの団体の個性あふれる催し物が、ご来場いただいた皆様を楽しませたことと思います。その中でも、1年3組企画（お化け屋敷迷路）は、体育館のほとんどを机とダンボールで埋め尽くした大掛かりなアトラクションで、待ち時間が出る程の盛況振りとなりました。



後夜祭では、有志によるダンス・バンド演奏が行われました。また、生徒・職員から選り抜かれたグループが、カラオケパフォーマンスで競い合いました。

ご来場いただいた皆様には、本校生徒ありのままの生き生きとした姿を見ていただけたことと思います。学校祭は、生徒それぞれが役割や責任を、自覚し行動する絶好の機会です。若さゆえの未熟さから、至らぬ点や失礼な点もあったことと思いますが、温かい目で見守ってくださいましたことに感謝いたします。次回は24年度の開催となりますが、今後も「南高」らしい学校祭になるよう、生徒・保護者・職員が一致団結していきたいと思っています。ありがとうございました。

足利市内高校芸術鑑賞

芸術科 藤谷 知仁

11月9日（火）に足利市民会館大ホールにて実施された芸術鑑賞会では、指揮に田尻真高さん、ソリストにピアノの斎藤龍さんを迎えて東京フィルハーモニー交響楽団の演奏を聴きました。

演奏された曲には、女子フィギュアスケートの浅田真央選手がフリー・プログラム用の曲としても使用されたハチャトゥリアン作曲：組曲「仮面舞踏会」・コミック及びドラマ版「のだめカンタービレ」で登場したラフマニノフ作曲：ピアノ協奏曲第2番や、日本の民謡が素材となり、拍子木・鐘・チャンチキ・鈴など日本の打楽器を使っていたり、「あんたがたどこさ」・「ソーラン節」・「炭坑節」・「串本節」といった民謡の旋律がいくつも組み合わせられて作られている外山雄三作曲：管弦楽のためのラプソディなどがありました。

聴いたこと・知っている曲を生生のオーケストラの演奏で聴けたことに生徒・教職員ともに有意義な時間を過ごすことができました。

修学旅行（沖縄）

2学年主任 堀越 安則

9月27日（月）から30日（木）、2年生は3泊4日の日程で予めから心待ちにしていた沖縄への修学旅行に行ってきました。

当初、9月中の日程は台風の影響が大いにあるとの予想に反し、期間中の沖縄はすべて晴天に恵まれ最高の修学旅行になりました。

初日に羽田空港から現地入りした一行のほとんどが初めての沖縄を体験。国際通りでの班別自由行動により沖縄を肌で実感することになりました。

夕食後には沖縄戦による戦争体験のある宮城喜久子さんから講話をいただき、戦争の残酷さ、悲惨さそして、平和の尊さについて改めて考えることができました。

第二日目には平和教育の一環としてガマ体験を経験しました。真っ暗なガマの中で過ごした時間は貴重な体験となりました。午後からは美ら海水族館に行き、巨大なアクリルパネル越しに見たジンベエザメの大きさには驚かされました。



第三日目にはフェリーに乗り、伊江島の自然体験を終日にわたって楽しみました。ダイビング体験や磯釣り、貝細工体験などを行い思い思いのコースに分かれて、沖縄の大自然を仲間たちとともに満喫することができました。最終日には沖縄ワールド内の玉泉洞で天然記念物の鍾乳石を見ることができました。

この修学旅行を通して見るもの、聞くものがすべて新鮮で、発見に満ちた体験をたくさんすることができました。また、戦争の悲惨さや平和の尊さ、大自然のすばらしさなどを改めて考える機会が持てたことは、今後の人生にきっと役だってくることと思っています。

修学旅行で沖縄に行って

『最初で最後の修学旅行』
2年1組 大沼 碧咲

平成22年9月27日から30日までの4日間、私たちは修学旅行で沖縄に行って来ました。栃木県ではできない貴重な経験をする事ができました。

戦争体験者の平和講話を聞いたり、ガマ体験、平和祈念公園を見学することによって戦争がいかに悲惨なものだったかということを実感しました。多くの人の犠牲の上に今の「平和」があることを知りました。

楽しいことも体験できました。国際通りでの自由行動ではたくさんのお店に入り買い物をしました。美ら海水族館ではとても大きいジンベエザメ、南国のきれいな魚を見ることができて感動しました。



玉泉洞の鍾乳石も記憶に残っています。そしてなんと言っても感動的なのは沖縄の海です。とてもきれいな伊江島の青い海でのマリンスポーツ体験はとても楽しいものでした。

この4日間の体験は級友たちとの友情も深めてくれました。沖縄の思い出は一生の宝になるでしょう。



第11回足南高ハーフマラソン大会

保健体育科 安塚 正史

「男女成績」

順位	クラス名	氏名	タイム	クラス名	氏名	タイム
1位	1-3	掛川 貴司	1:21:39	1-2	飯村 彩香	1:36:32
2位	3-4	齋藤 翔太	1:21:42	1-1	鈴木 歩美	1:39:04
3位	1-1	田中 貴裕	1:25:01	1-1	保坂 有和	1:45:08
4位	1-5	田代 大輔	1:27:30	2-2	坂上 紫穂	1:45:15
5位	2-1	関谷 智	1:27:43	1-1	荒木 麻鈴	1:46:02
6位	1-2	新井 利光	1:29:44	2-1	笠原 星来	1:46:18
7位	3-4	安永 将也	1:33:02	1-2	小野 千晶	1:46:23
8位	1-1	片上 卓哉	1:34:35	2-2	飯田 萌	1:46:36
9位	3-1	坂田 拓磨	1:35:33	3-2	中島 麻佑	1:48:05
10位	2-5	笠原 康人	1:39:28	3-3	小林 紗夏	1:48:27

「クラス成績」

総合順位	クラス名	クラス平均
1位	1-3	2:56:07
2位	1-2	2:57:11
3位	1-1	2:58:34
4位	3-1	3:06:23
5位	2-2	3:12:35

男子全員の平均タイムは2:47:31

女子全員の平均タイムは3:31:27

全参加者の平均タイムは3:17:58

11月とは思えぬ暖かい日差しの元、第11回足南高等学校ハーフマラソン大会が11月12日（金）に行われました。

今年は、一年生のがんばりがとても目立ち、男女ともに優勝、クラス平均タイムでも一位から三位を独占しクラス優勝は1年3組という結果となりました。

途中、体調不良で棄権をする生徒も2名出てしまいましたが、大事には至らず490名の生徒が無事完走しました。一人一人の生徒たちがそれぞれに充実感や達成感を味わったことと思います。

最後になりますが、PTA会長をはじめ今年も62名の保護者の方々のお手伝いをいただき、大きな事故もなく無事大会を成功させることができましたことを心からお礼申し上げます。



発行：栃木県立足南高等学校
TEL：0284-72-3119（事務室）
TEL：0284-72-3118（職員室）

教務部広報係
FAX：0284-73-2772